

- 問1 奈良時代の文化に関する説明の中に、「貴族だけでなく、兵役として送られた人々や農民の歌も収められている」という記述があります。この「兵役として送られた人々」が残した歌が収録されている、日本最古の歌集はどれですか。 (2017年 埼玉県公立入試 類似)
1. 風土記 2. 古事記 3. 万葉集 4. 日本書紀
- 問2 奈良時代の年表において、天平文化が栄えた時期に活動した人物について述べたものです。橋や道路の建設、ため池の築造といった社会事業を行いながら、当時禁止されていた民衆への布教活動を精力的に行った僧侶は誰ですか。 (2017年 静岡県公立入試 類似)
1. 鑑真 2. 行基 3. 最澄 4. 道鏡
- 問3 奈良時代に聖武天皇が仏教による国家の安定を目指した時期の状況について、正しく述べたものはどれですか。 (2017年 福岡県公立入試 類似)
1. 遣唐使が廃止されたことで、日本独自の生活様式に合わせた文化が栄えた 2. 東大寺の建立に反対した勢力を抑えるため、軍事力を強化する政策をとった 3. 奈良の正倉院には、大陸との交流を示す国際色豊かな宝物が納められた 4. 桓武天皇が政治を立て直すために、都を現在の奈良市から京都に移した
- 問4 ユーラシア大陸の主要な交易都市を結ぶシルクロードを経由し、西アジアの産物が日本にまで届いた歴史的背景について説明したものとして、最も適切な記述はどれですか。 (2022年 山口県公立入試 類似)
1. 安土桃山時代に始まった南蛮貿易において、ヨーロッパの商人がシルクロードを陸路で通り、西アジアの特産品を日本に伝えた。 2. 室町時代に活動した倭寇が、西アジアから中国沿岸部まで届いた工芸品を略奪し、東大寺などの寺院に寄進した。 3. 唐が西アジアに至る広大な領土を背景に国際的な文化を形成しており、日本から派遣された遣唐使がその文物を持ち帰った。 4. 江戸時代初期に幕府から許可を受けた朱印船が、ペルシヤ湾付近まで直接航海してガラス細工などの貴重な品を輸入した。
- 問5 奈良時代の律令国家が、平城京に「市」を設置し「和同開珎」を鑄造した目的やその背景について述べた文として、最も適切なものはどれか。 (2023年 熊本県公立入試 類似)
1. 全国の農民に貨幣を均等に配布することで、平城京以外の地方都市においても物資の売買を禁止し、自給自足の生活を徹底させるためであった。 2. 唐の制度にならって国家としての体制を整えるとともに、貨幣を流通させることで都の建設に必要な労働力や物資を円滑に確保しようとした。 3. 和同開珎を平城京の市でのみ使用する「記念品」として発行することで、地方から平城京への人口流入を防ぐことを最大の目的としていた。 4. 当時深刻だった銅不足を解消するために、平城京の市に集まる商人から強制的に銅を回収する手段として和同開珎を発行した。
- 問6 奈良時代に、都に東大寺を建てて仏教の力で国を護ろうとし、シルクロードを経由した国際色豊かな文化の中心となった天皇は誰ですか。 (2025年 岩手県公立入試 類似)
1. 卑弥呼 2. 織田信長 3. 聖武天皇 4. 藤原道長
- 問7 聖武天皇の時代に、当初は政府から弾圧されていた僧侶の行基が、後に高い位を与えられて大仏の造立に協力することになった理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 佐賀県公立入試 類似)
1. 鎌倉時代に新仏教を興した開祖たちと同様に、厳しい修行を通じて国家の安泰を祈願したから 2. 民衆の間で大きな影響力を持っており、大規模な工事に必要な人手や資金を集める役割を期待されたから 3. 地方の国府や国分寺の周辺で発生した反乱を、仏教の教えを用いて鎮圧することに成功したから 4. 遣唐使として唐に渡り、最新の建築技術や土木技術を日本に初めて持ち帰った功績が認められたから
- 問8 奈良時代、律令国家の体制を整える一環として、朝廷は各国に命じて、その土地の地理、産物、そして古くから伝わる伝承などを報告書としてまとめさせました。この記録を何といいますか。 (2020年 神奈川県公立入試 類似)
1. 古事記 2. 風土記 3. 日本書紀 4. 万葉集
- 問9 東大寺の正倉院に納められた宝物が、当時の西アジアやペルシヤといった遠方の地域の特徴を持っている理由として、最も適切な説明はどれか。 (2016年 東京都公立入試 類似)
1. 当時の唐は広大な帝国であり、シルクロードを通じて世界中の文化が集まっており、日本は遣唐使を通じてそれらを吸収したため。 2. モンゴル帝国がユーラシア大陸を支配したことで、東の果てにある日本とも陸路での安全な交易が可能になったため。 3. 日本がペルシヤやインドと直接の通商条約を結び、定期的に商船が難波津や平城京へ来航していたため。 4. 聖武天皇が仏教を広めるためにシルクロードを自ら横断し、各地で収集した仏具や美術品を持ち帰ったため。
- 問10 奈良時代の聖武天皇ゆかりの品や、シルクロードを通じて伝来した国際色豊かな宝物が数多く保管されている、東大寺にある校倉造の宝庫を何というか。 (2022年 青森県公立入試 類似)
1. 登呂遺跡 2. 正倉院 3. 法隆寺金堂 4. 平等院鳳凰堂
- 問11 平城京が建設され、和同開珎などの貨幣が発行される一方で、当時の社会では伝染病の流行や政治的な対立が続いていました。このような不安定な情勢に対し、聖武天皇が東大寺に大仏を建立し、全国に国分寺を配置した目的として最も適切な説明を選びなさい。 (2021年 岐阜県公立入試 類似)
1. 唐などの外国からの侵攻を想定し、寺院を軍事的な拠点とするため 2. 律令に基づき、農民に与えた土地の私有化を恒久的に認めるため 3. 仏教の力で人々の不安を静め、国家の平和と安定を図るため 4. 貨幣の流通を促進させるため、寺院を金融の窓口として利用するため
- 問12 663年の白村江の戦いで敗れた後、大和政権は大宰府を守るためにその周辺の防衛を強化しました。この時、大宰府の北側に築かれた、巨大な土塁と堀を持つ防衛施設を何と呼びますか。 (2017年 広島県公立入試 類似)
1. 吉野ヶ里 (よしのがり) 2. 水城 (みずき) 3. 鴻臚館 (こうろかん) 4. 多賀城 (たがじょう)
- 問13 律令制の下で、作成された戸籍に基づき、6歳以上のすべての人々に性別や身分に応じて与えられた土地の名称はどれか。 (2023年 青森県公立入試 類似)
1. 口分田 2. 職田 3. 屯倉 4. 位田
- 問14 律令制における税制度のうち、「調」が当時の人々に与えた影響やその仕組みについて述べたものとして正しいものはどれですか。 (2023年 岩手県公立入試 類似)
1. 主に男子に対して課され、特産物を都へ運ぶ際の食料も自己負担であったため、生活を圧迫した。 2. 口分田の面積に応じて課されたため、土地を持っていない者は免除された。 3. 成年女子に対してのみ課された税であり、布を織って納めることが一般的であった。 4. 地方の特産物を現地の役所に預けるだけで完了したため、都へ行く必要はなかった。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 万葉集	奈良時代末期にまとめられた『万葉集』には、天皇や貴族の歌だけでなく、東国から九州へと派遣された防人の心情を詠んだ「防人の歌」や、農民の苦しい生活を詠んだ歌などが幅広く収録されています。これは、当時の人々の生活や感情を伝える貴重な史料としての側面も持っています。
問2	答え 2 行基	奈良時代の仏教は本来、国家の安泰を祈る「鎮護国家」のためのもので、僧侶が一般の民衆に直接布教することは禁じられていました。しかし、この僧侶は独学で修行を積み、土木技術を駆使した社会事業を通じて民衆の信頼を勝ち取りました。その絶大な影響力に注目した聖武天皇は、のちに彼を大僧正として迎え、東大寺の大仏造立への協力を依頼しました。
問3	答え 3 奈良の正倉院には、大陸との交流を示す国際色豊かな宝物が納められた	聖武天皇は東大寺に大仏を造営し、国ごとに国分寺・国分尼寺を建てるなど、仏教の力で国を治めようとしていました。正倉院はこの時期の文化的な中心であった東大寺の倉の一つであり、当時の国際的な広がり象徴する場所です。桓武天皇や遣唐使の廃止は、奈良時代よりも後の平安時代に関連する事象です。
問4	答え 3 唐が西アジアに至る広大な領土を背景に国際的な文化を形成しており、日本から派遣された遣唐使がその文物を持ち帰った。	奈良時代の日本は、唐の先進的な文化を学ぶために遣唐使を派遣しました。当時の唐は西アジアとも交流を持つ国際的な帝国であり、シルクロードを通じてペルシャなどの産物が流入していました。日本に伝わったこれらの産物は、東大寺の正倉院に保管され、現在も当時の国際交流の様子を伝えています。選択肢にある倭寇や朱印船、南蛮貿易は、奈良時代よりも後の時代の出来事であり、シルクロードを介した唐との交流とは異なります。
問5	答え 2 唐の制度にならって国家としての体制を整えるとともに、貨幣を流通させることで都の建設に必要な労働力や物資を円滑に確保しようとした。	律令国家は、唐の優れた貨幣制度を導入することで、国家としての権威を高めようと考えました。平城京内に市場を整備し、和同開珎による取引を促進した背景には、都の建設に従事する労働者への支払いや必要な資材の調達を、物々交換ではなく貨幣を介して効率的に行うという経済的な狙いがありました。
問6	答え 3 聖武天皇	奈良時代に東大寺を建て、仏教によって国家の安泰を図ったのは聖武天皇です。この時期に栄えた文化は天平文化と呼ばれ、唐の影響を受けた国際色豊かな特徴を持っています。
問7	答え 2 民衆の間で大きな影響力を持っており、大規模な工事に必要な人手や資金を集める役割を期待されたから	聖武天皇は仏教の力で国を安定させようとして大仏の造立を計画しましたが、それには膨大な労働力と寄付（資金）が必要でした。政府は、かつては弾圧していたものの、民衆から絶大な支持を受け、橋やため池の建設を指揮していた行基の協力なしには、この国家的な大事業を完遂できないと判断して彼を重用しました。
問8	答え 2 風土記	律令政府が地方の実態を把握するために、713年に諸国へ編纂を命じた地誌です。各地の産物や土地の肥沃さ、地名の由来となった伝承などが詳しく記されており、当時の地方の様子を知るための貴重な史料となっています。選択肢にある『古事記』や『日本書紀』は歴史書、『万葉集』は和歌集であり、地理や産物を主目的とした記録ではありません。
問9	答え 1 当時の唐は広大な帝国であり、シルクロードを通じて世界中の文化が集まっており、日本は遣唐使を通じてそれらを吸収したため。	奈良時代の文化が国際的な性格を持つ背景には、唐の都である長安が「シルクロードの終着点」として機能していたことが挙げられます。長安には西方から多様な文物が流入しており、日本は遣唐使を派遣して唐の優れた制度や文化とともに、間接的に西アジアやペルシアなどの工芸技術やデザインを取り入れました。モンゴル帝国の影響は鎌倉時代の元寇以降の時期に関する記述であり、時代が異なります。
問10	答え 2 正倉院	聖武天皇の死後、光明皇后がその遺愛品を東大寺に納めたことが始まりです。校倉造という高床式の構造により、湿気などから宝物が守られてきました。法隆寺金堂は世界最古の木造建築群の一部、登呂遺跡は静岡県にある弥生時代の遺跡です。
問11	答え 3 仏教の力で人々の不安を静め、国家の平和と安定を図るため	聖武天皇が目指した「鎮護国家」とは、仏教の教えによって災いを取り除き、国を治めるという思想です。当時の日本は、飢饉や天然痘の流行などによって社会が極めて不安定な状況にありました。このような不安を払拭し、中央集権的な国家の結びつきを強めるために、巨大な大仏や全国的な国分寺網を整備しました。土地の私有を認めたのは同時期の墾田永年私財法ですが、これは大仏造立の直接的な目的ではありません。
問12	答え 2 水城（みづき）	白村江の戦いでの敗北後、唐・新羅連合軍の侵攻を恐れた朝廷は、九州の防衛を急ぎました。外交・行政の中心地である大宰府を守るため、その北側に「水城」という大規模な堤防（土塁と堀）を築き、さらに周囲の山々には大野城などの朝鮮式山城を建設して、防衛体制を整えました。多賀城は東北地方の拠点であり、鴻臚館は外交使節の宿泊施設です。
問13	答え 1 口分田	班田収授法に基づき、人民に耕作させるために与えられた土地である。収穫の一部は租として納められた。位田は位階を持つ者に、職田は官職にある者に与えられた給与としての土地であり、一般の農民に与えられたものではない。
問14	答え 1 主に男子に対して課され、特産物を都へ運ぶ際の食料も自己負担であったため、生活を圧迫した。	調は成年男子（正丁・中男）に課せられた税です。単に産物を納めるだけでなく、遠方の都まで自分の足で運び、往復の食料も自分で用意しなければなりません。この過酷な負担から逃れるために、戸籍を偽って「女」として登録する「偽籍（ぎせき）」などの行為が広がる原因の一つとなりました。なお、土地の面積に応じて課されたのは「租」です。